

新しい正食の友へ（新しき世界へ 1971 年 11-12 月号）

一食正しければ人また正しー

G.O. (桜沢如一)

フシギナ御縁で生命と魂の同志となられた諸君!

私の説く正食の道は、明治の初め石塚左玄によって創(はじ)められたモノですが、遠くは貝原益軒先生(『養生訓』)、さらに遠くは伝教(天台宗を日本で創め、全日本の宗教と文化の源泉となった千二、三百年前の自由人)、さらに遠くは五千年前の黄帝(『素問靈樞一世界最古の医学・百科全書)、さらにクリシュナ、神農、フーイ、老子、少名(スクナヒコナノミコト)、豊受大神(トユケオオミカミ)などにさかのぼることのできる古い古い道です。

この古い日本や支那やインドの世界観哲学、それに溯源する東洋医学は、七、八十年来の西洋文明の舶来の大波で一度抹殺されたモノです。ノレを縁あって私は一人で再興の大任を負い、四十五年、今日まで、まるで小説以上の万丈の波乱をのり切ってつづけて来たモノです。そしてこの五年間はインド、アフリカ、ヨーロッパ諸国で大成果を収め、われながらユメ心地でいるのです。

数日前、二週間ぶりでパリに帰り、今朝も散歩カタガタ理事の一人丁君の家を訪ねるため、ホテルから 4、5 丁歩いたのです。スルトどうでしょう。その間に近代的な大病院、ソルボンヌ大学や大学院、数学研究所、栄養研究所等々がつづいているのです。

一ねえ、コンナ大学や病院の建物ばかり並んでいるパリの街で、私のような小さい小さい存在が、力強い革命的な団体行動の先端に立っているナンテ、全くウソのようだなあ。

と私は妻にもらしたモノです。朝ギリに包まれたパリのさわやかな五月の朝です。オモシロイ大きなオートマットのゴミ集め車が！静かに家々のゴミ箱を空にしてゆく。そのあとからハウキ車と水マキ車が走り廻って道を洗ってゆく……

一こんなリッパな都会で、われわれのようなモノが、こんな大学や大病院で求められない、思想や健康をバラマクとは、何たるフシギな風の吹き廻しだろう。

それから郊外のソオロペンソンの C 邸に行ったのですが、郊外の美しさは日本では想像もできないモノです。余り美しい、画のような景物に、思わずツリこまれてミノルタ(大阪の三木さんから頂いた)をとり出して、2.3 枚とりました。それからパリに帰るのに快速なので二里半余のところを 11 分で、美しい郊外の田園都市をながめながらパリの中心まで帰りました。その電車の中で、また着駅で、美しいパリ入の流れの中で、またしても私は、

一ねえ、こんな美しい人々がミナー生探し求めあぐんでいる「青い鳥」を私たち二人の老人が、バラマクために来ているのだとは、この人たち、ダレも知らないんだナア……

一知ったら大へんですね、今でもモー大へんですモノ。

一圧しつぶされてしまうだろう。だからコレカラはモー決して新しい人々には呼びかけず、

古い人々数千人のうち、千人だけえらび、その中からさらに百人ほどを選んで総仕上げをして、正食法と PU 実用弁証法の指導者を二、三十人こさえることに専心して、ノレから一ソオ一年後くらいに一欧州を脱出しようネ……

こんな会話をしました。

日本で四十年努力をしたのに、いっこう報いられなかった私は、欧州で二年余り努力しただけで 145 年分も報いられたのです。

私たちは今さらのように「食正しければ人また正し」というコトを考えます。私たちがココまで来たのは、私たちが「正しいコト」を知っていたからであり、それが「正しい食」を知って実行したオカゲであり、「正しいモノ」は『最後』に勝つものであることが当然だからです。人は「最後に」そして「永遠に」勝つものでなくてはなりません。

実行……………実践

新しくこの正しいオシモノの道を進まんとする諸君!

この道は古い古い道です。今は行く人も、来る人もないほどの道です。

この道を勇ましくもたどろうと決心した諸君のために、私は何を申上げるべきか?何もない。モー四十五年間かきつづけたモノがあります。大部分は入手が六カシイですが、ノレでも百数十種はのこっています。ソレに重要なモノは、再版・新版ができています。また、コレカラも出します。それを片ッパシから(コトニ「サーナ」「コンパ」「世界政府」の旧号を読みヤブリつつ十日間あるいは一ヵ月、あるいは六ヵ月)次の条件を実行されることです。(中略、あなたの正食はあなたが研究して発見すること。根本は完全な穀物を主餌、副飾季節の野菜を少量(調理して)、よく噛み、水分はなるべく少く、これ以外の余分なものは一切食べないこと……編集部注)

コレなら、イツ、ドコ、何人でもスグ実行できるでしょう。

そしてドンナ病気でも軽快するか、全快するでしょう。

ソレからが大切です。PU—実用弁証法を私のかいた本スベテによって体得することです。コレが一番大切です!

その間、不明のことは、タクサン各地にいる同志に質問し、指導をうけることです。(中略)

最大のネライを!

正しい食生活をやり、実用弁証法を身につけると云うコトは、単に健康を確立したり、事業に成功したり、家族を幸せにしたりすることではありません。

この地上で「最大の、そして最上のモノ」を獲得するコトです。

The best and biggest thing!

それは無限の自由、絶対の正義、永遠の幸せを身につけることです。

消えうせない幸せ、制限なき自由、世界の平和を身一つで立証する人生を送ることです。

大へん圧縮してお話ししましたから、分りにくい方もあるでしょう。これから毎号ポツリポツリくわしく、実例をもってお話しします。

ソレまでに▽△によるモノの見方だけは、(「無双原理・易」「宇宙の秩序」「永遠の少年」上、下、天国の測などで)シッカリ自分のモノにしておいてください。

(新聞「新しき世界へ」孤 283、1959.6.1 号より)

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください